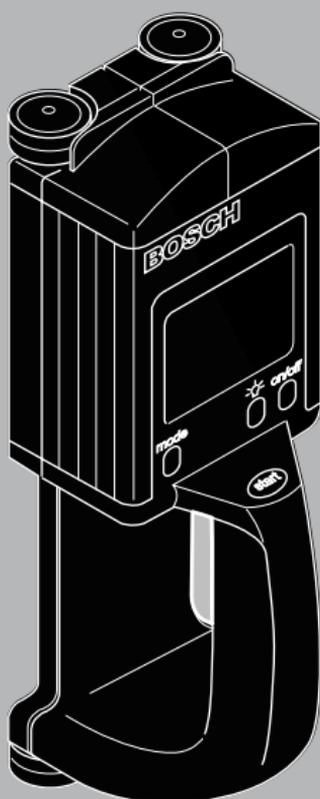
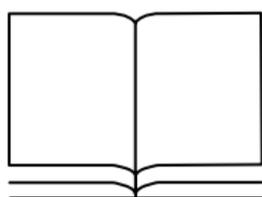


取扱説明書

i



ウォールスキャナー D-TECT 100 CNT 型

このたびは、ウォールスキャナーをお買い求めいただき、誠にありがとうございます。

- ご使用になる前に、この『取扱説明書』をよくお読みになり、正しくお使いください。
- お読みになった後は、この『取扱説明書』を大切に保管してください。わからないことが起きたときは、必ず読み返してください。



BOSCH

目次

● 使用上のご注意	
使用上のご注意	2
● 本製品について	
用途	3
各部の名称	3
仕様	5
標準付属品	6
● 使い方	
作業前の準備をする	7
作業する	8
● 困ったときは	
故障かな?と思ったら	20
修理を依頼するときは	22
● お手入れと保管	
クリーニング	23
保管	23
保守	24

ご使用
注意の

つ本製
い品
てに

使
い
方

困
った
とき
は

保
お
手
入
れ
と
管

使用上のご注意

1. ご使用前に、この『取扱説明書』よくお読みのうえ、指示に従って正しく使用してください。
2. お読みになった後は、ご使用になる方がいつでも見られるところに、必ず保管してください。
3. 他の人に貸し出す場合は、いっしょに取扱説明書もお渡しください。
4. 正確な探知を行うために、センサー感知面にステッカーを貼ったり、金属製のネームプレートを取り付けたりしないでください。
5. 使用前には、必ず本機を点検してください。
 - ◆ 損傷が見られる場合や外れた部品などがあると、正確な探知結果が得られないことがあります。
6. 風雨にさらされたり、湿度の高いところに置かないでください。
7. 直射日光が当たったり、車中など高温になるところには置かないでください。
8. 液漏れによる腐食から守るため、長時間使用しない場合は、本機から電池を取り外してください。
9. 本機の持ち運びおよび保管には、付属のソフトキャリングケースを使用してください。
10. 消耗品等を購入するときは、機種名をよく確認してください。
 - ◆ 指定の消耗品はこの取扱説明書に記載されています。

この取扱説明書は、大切に保管してください。

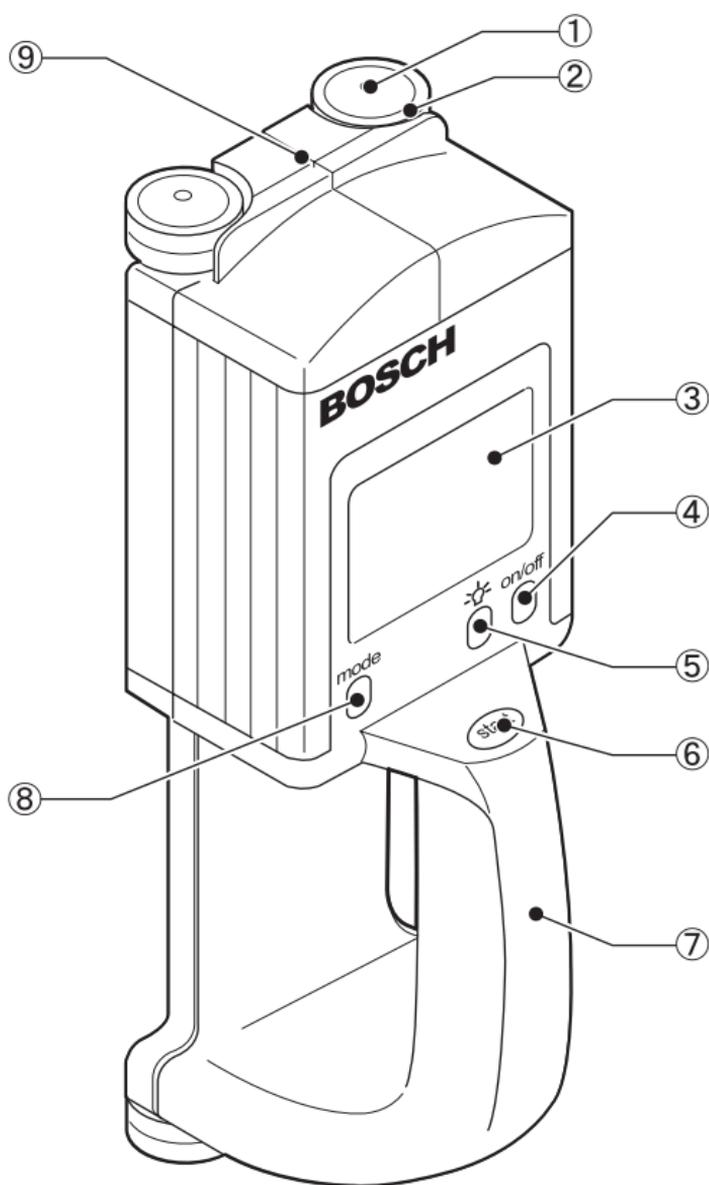
本製品について

用途

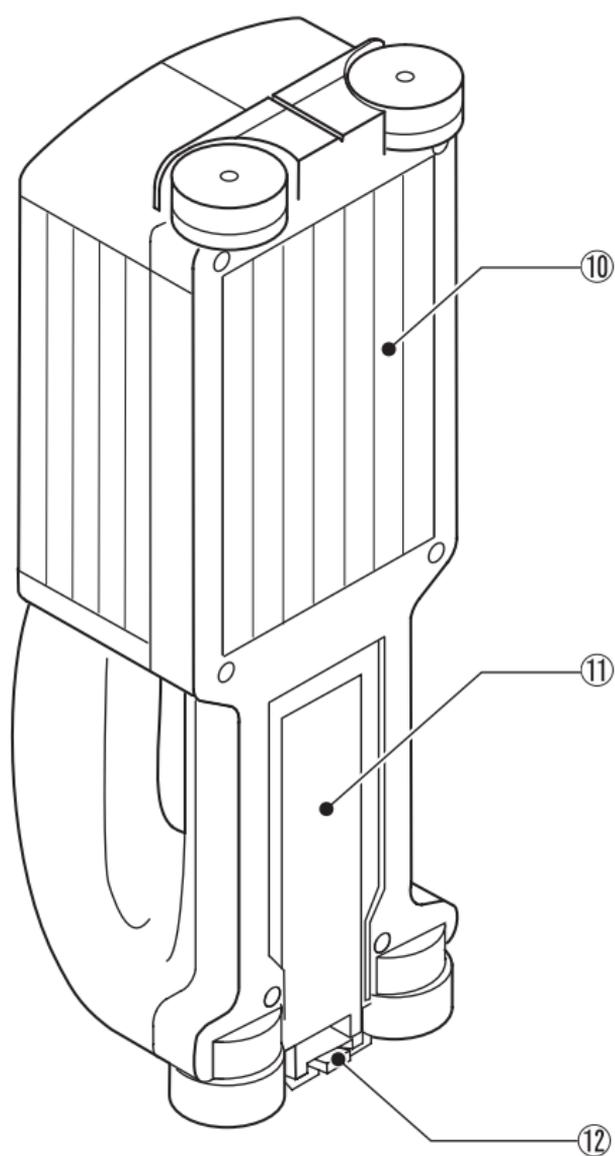
- ◆ コンクリートに埋設された鉄筋、プラスチックパイプ、配線および壁裏の木材などの探知
- ◆ 穴あけ位置、深さの選定

本製品にて

各部の名称



- ① ガイドローラー固定ネジ
- ② ガイドローラー
- ③ ディスプレー
- ④ 電源 ON/OFF ボタン
- ⑤ ディスプレー照明ボタン
- ⑥ 探知スタートボタン
- ⑦ ハンドル
- ⑧ モード選択ボタン
- ⑨ 中心ガイド線



- ⑩ センサー感知面
- ⑪ 電池カバー
- ⑫ 電池カバーフック

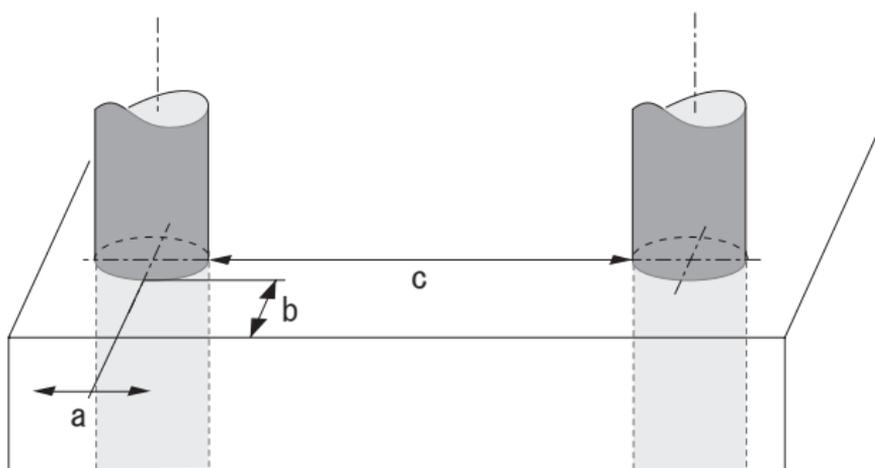
◆このイラストの形状・詳細は、実物と異なる場合があります。

仕 様

型 番	D-TECT 100 CNT
最大探知深さ	10cm
探知対象物の中心に おける探知精度 (図の a)	±5mm (注)
探知対象物までの深さ精度 (図の b)	
Mode 1 打設後 3 か月以上 経過している コンクリート	±5mm (注)
Mode 2 打設後 1 か月以上 経過している コンクリート	±10mm (注)
表示可能最小間隔 (図の c)	4cm (注)
作業可能温度範囲	-10℃～+50℃
保管可能温度範囲	-20℃～+70℃
探知できる対象物	各種金属 (鉄、ステンレス、銅、アル ミニウムなど) プラスチックパイプ (配水管、空洞パイプなど) 電線 (非通電状態でも探知可) 三相交流電線 (電磁コンロ用など) 低電圧配線 (インターフォン、電話など) 空洞部分 木材 (梁など)
寸 法 (幅×奥行き×高さ)	98×100×273mm 防じん・防水構造 IP54
質 量	800g (電池を含む)
電 源	単 3 形アルカリ乾電池 4 本、または単 3 形充 電式ニッケル水素電池 4 本
連続使用時間	およそ 13 時間 (アルカリ乾電池使用時)

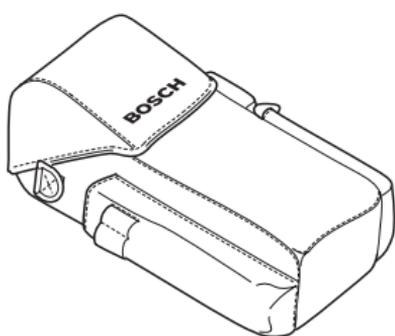
(注) 埋設物の大きさや材質、探知対象面の材質や状態により異なります。

つ本
製
い
品
てに



つ本
製
い品
てに

標準付属品



キャリングバック

品番：1 609 203 D42

◆このイラストの形状・詳細は、実物と異なる場合があります。

使い方

作業前の準備をする

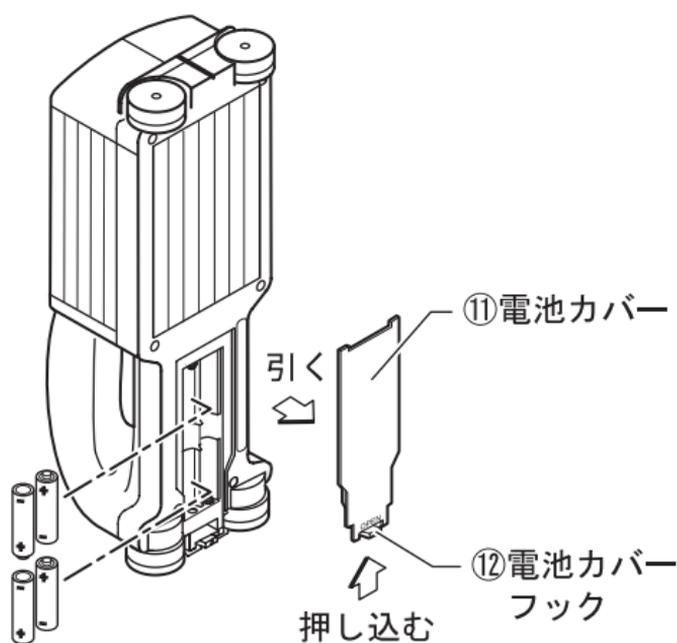
● 電池をセットする

使用電池

単3形アルカリ乾電池4本、または単3形充電式ニッケル水素電池4本

- ☞ 指定された電池を使用してください。
- ☞ 同種で、同一メーカーの電池を使用してください。
- ☞ 電池を交換するときは、常に新しい電池を4本セットで交換してください。

1. 電池カバーフック⑫を上押ししながら、電池カバー⑪を手前に引いて取り外します。
2. プラス（+）極・マイナス（-）極の向きを電池収納部内のマークに合わせて、電池をセットします。
3. 電池カバー⑪を取り付けます。
4. 電池カバー⑪が確実に取り付けられているか、確認します。



作業する

-  正確な探知を行うために、センサー感知面にステッカーを貼ったり、金属製のネームプレートを取り付けたりしないでください。

以下のような状況によっては適切に探知できない場合があります。

- ◆ 金属表面や探知面がぬれている場合、探知できないことがあります。
- ◆ プラスチックパイプ内の水が凍っていると、探知はできません。
- ◆ 水分が多いなどの理由でコンクリートの一部が湿っている場合、湿っている部分が埋設物として表示されてしまうことがあります。
- ◆ 上張りなどによる複数層からなる面を探知する場合、表面に最も近い境界層（上張りの下のすき間など）のみが表示されてしまうことがあります。
- ◆ 壁の中の空洞部分は、埋設物として表示されることがあります。
- ◆ 大きな円筒状の埋設物（プラスチックパイプや配水管など）は、実際の大きさより細めに表示されることがあります。

1 センサー感知面⑩と探知対象面を確認する

センサー感知面⑩と探知対象面がぬれていないか確認します。

センサー感知面がぬれているときは、乾いた布でふいてください。

2 電源を入れる

「電源 ON/OFF ボタン④」または「探知スタートボタン⑥」を押してください。

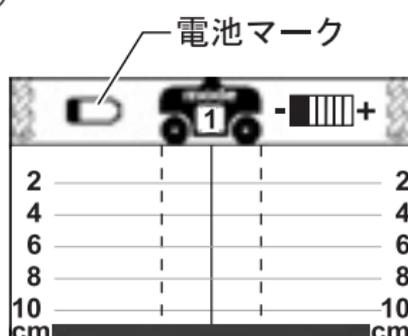
ディスプレイ③にスタート画面が表示されます。

スタート画面では、「Concrete」の文字の上を本機のイラストが左右に1度移動します。

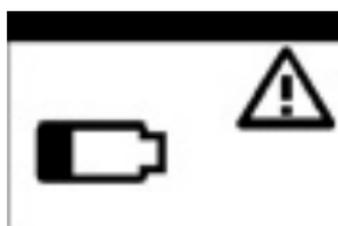
その後、自動的に探知画面（Mode1）に切り替わります。

画面で左下に  マークが表示されている間に「モード選択ボタン⑦」を押すと、本機の使い方が表示されます（約1分間）。

ディスプレイ③の左上に電池マーク（）が表示された場合は、電池の容量が残り少なくなっています。新しい電池を用意してください。アルカリ乾電池を使用している場合は、そのままでも30分ほど作業することができます。（充電式ニッケル水素乾電池の場合は、30分より短くなります）



ディスプレイ③内に警告マーク（）が表示された場合は、電池を交換してください。電池を交換しないと、使用することができません。



3 ディスプレイのバックライトを点灯させる（必要時）

暗い場所で探知作業をするときなど、「ディスプレイ照明ボタン⑤」を押すとディスプレイのバックライトが点灯します。消灯させたいときは、再び「ディスプレイ照明ボタン⑤」を押してください。

4 探知画面の表示モードを選ぶ

 打設後1か月未満のコンクリートでは、探知は行えません。

電源投入後、最初に表示されるのは“Mode 1”です。「モード選択ボタン⑧」を2秒以上押すと、モードが切り替わります。

Mode 1 → Mode 2 → Direct Mode → Mode 1 …

Mode1

乾燥したコンクリート（打設後3か月以上経過しているコンクリート）で、埋設物の深さを探知する。

Mode2

湿ったコンクリート（打設後1か月以上経過しているコンクリート）で、埋設物の深さを探知する。

木材、空洞部分、ALC等の埋設物の探知。

Direct Mode

埋設物の場所を探知します。

“Direct Mode”では探知対象面の埋設物すべてが探知信号の強度で表示されます。

5 探知する

☞ 探知距離が40cm以上で、かつ探知対象面全域に渡って本機を使用すると、より正確な探知結果が得られます。

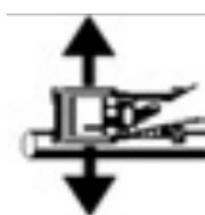
☞ 埋設物は本機の動く方向と直角に埋設されているときに探知されます。

探知するときは、探知対象面を水平方向と垂直方向の両方向に動かしてください。

（埋設物が水平方向の場合）



探知されない



探知される

☞ 本機よりかなり大きな埋設物は、本機の動く方向と平行でも探知できます。

☞ 探知対象面に複数の埋設物が重なって存在する場合、表面に最も近い埋設物が表示されます。

1. ガイドローラー②が確実に探知対象面に接触するように軽く当てます。

 作業中、ガイドローラーが探知対象面から浮かないように注意してください。

2. 一方向に、真っすぐ 8cm 以上本機を動かします。

例)

開始位置

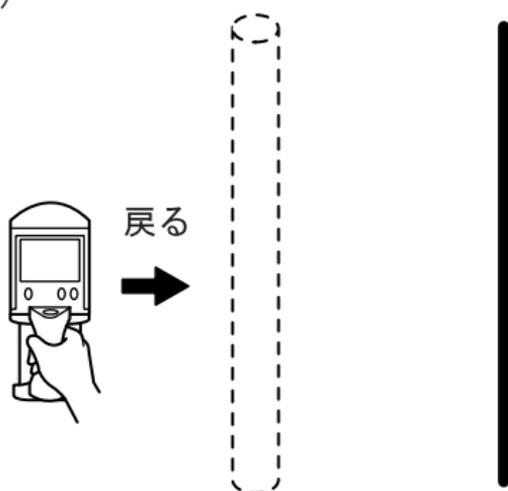


使
い
方

3. 一方向の端まで探知したら、開始位置まで戻ります。

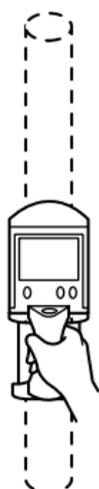
例)

開始位置

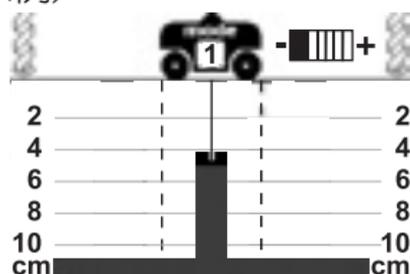


4. 対象物の位置を特定する。

例)



ディスプレイに探知結果が表示されます。
(表示例)



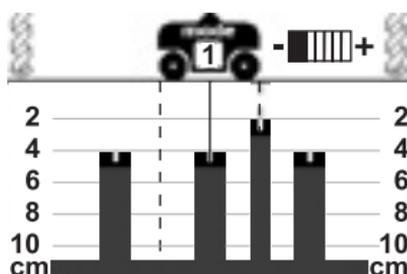
5. 1項～4項で本機を動かした方向と垂直方向で同様に探知します。
6. 1項～5項を繰り返して埋設物の位置を特定し、マーキング（「 対象物の中心線をマーキングする」参照）します。
探知をやり直したり別のところを探知したりするときは、「探知スタートボタン⑥」を押すか、本体を壁から離します。

広範囲にわたって探知を行うことで、一定間隔で存在する複数の埋設物（鉄筋など）と単独で存在する埋設物（配電線など）を区別することが可能となります。

例) 図中では一定の間隔で配置されている3つの対象物が、深さ4 cmの位置にあることがわかります。

これらの位置および深さから、この埋設物が鉄筋であることが推測できます。

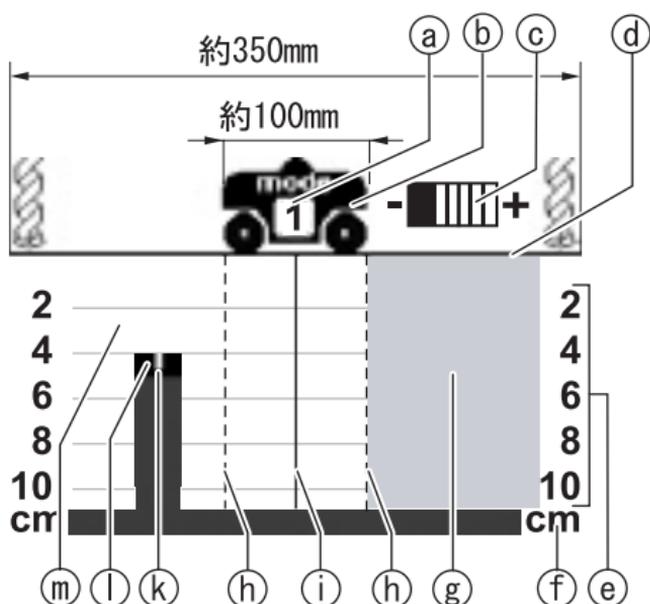
深さ2 cmの位置にある埋設物は、電源線などであることが推測できます。



“Mode 1” または “Mode 2” のとき

探知対象面と異なる材質の埋設物が感知されると、対象物までの深さが画面に表示されます。埋設物は、白い領域内①に黒色①で表示されます。対象物までの深さは、画面の目盛り⑤で読み取ります。

下記の場合、本機の左側、深さ 4 cm の位置に埋設物があることがわかります。



表示内容

- ① 探知モードの種類
- ② 本機の断面図
- ③ 探知感度
- ④ 壁表面
- ⑤ 対象物までの深さ（目盛り）
- ⑥ 探知単位
- ⑦ 灰色部：未探知域
- ⑧ 本機の両端
- ⑨ 本機の中心線
（中心ガイド線⑨と同位置）
- ⑩ 壁内に探知された対象物の中心
- ⑪ 黒色部：壁内に探知された対象物
- ⑫ 白色部：探知完了域

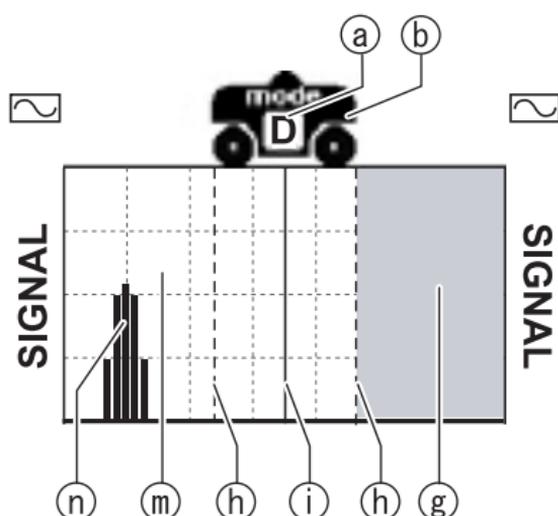
“Direct Mode” のとき

探知対象面と異なる材質の埋設物が感知されると、探知信号の強度が画面に表示されます。

信号はグラフ⑨として、表示されます。

グラフの高さが最大となる部分が埋設物の中心位置を示します。

グラフの高さは、埋設物までの深さや幅とは関係ありません。

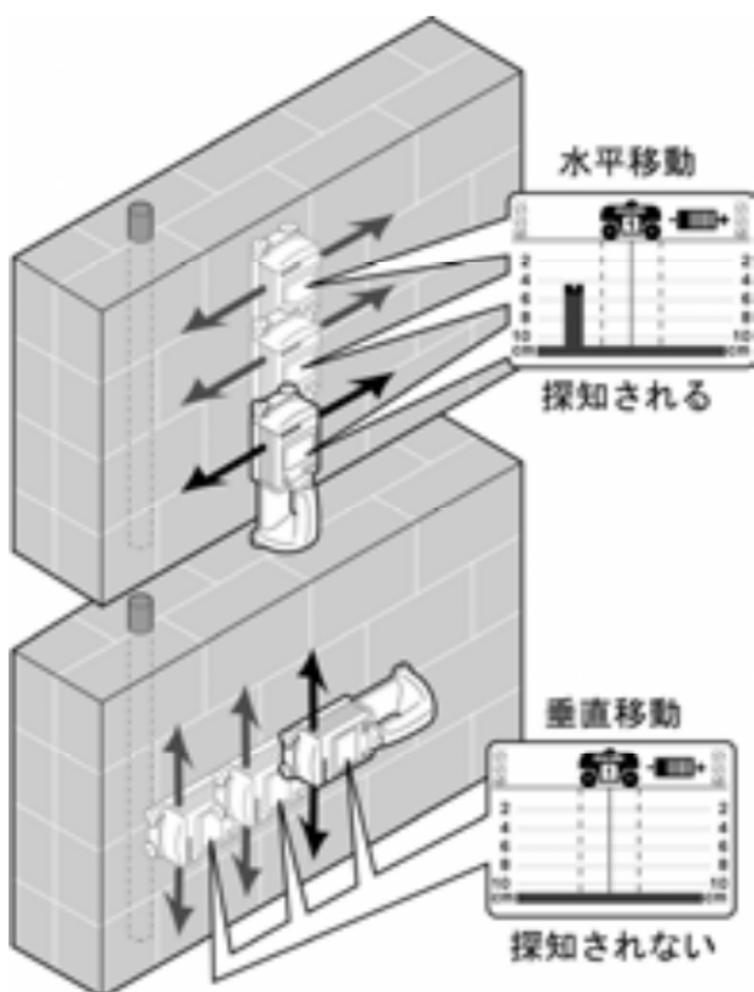


表示内容

- ① 探知モードの種類
- ② 本機の断面図
- ③ 灰色部：未探知域
- ④ 本機の両端
- ⑤ 本機を中心線
(中心ガイド線⑨と同位置)
- ⑥ 白色部：探知完了域
- ⑦ 探知信号の強度グラフ

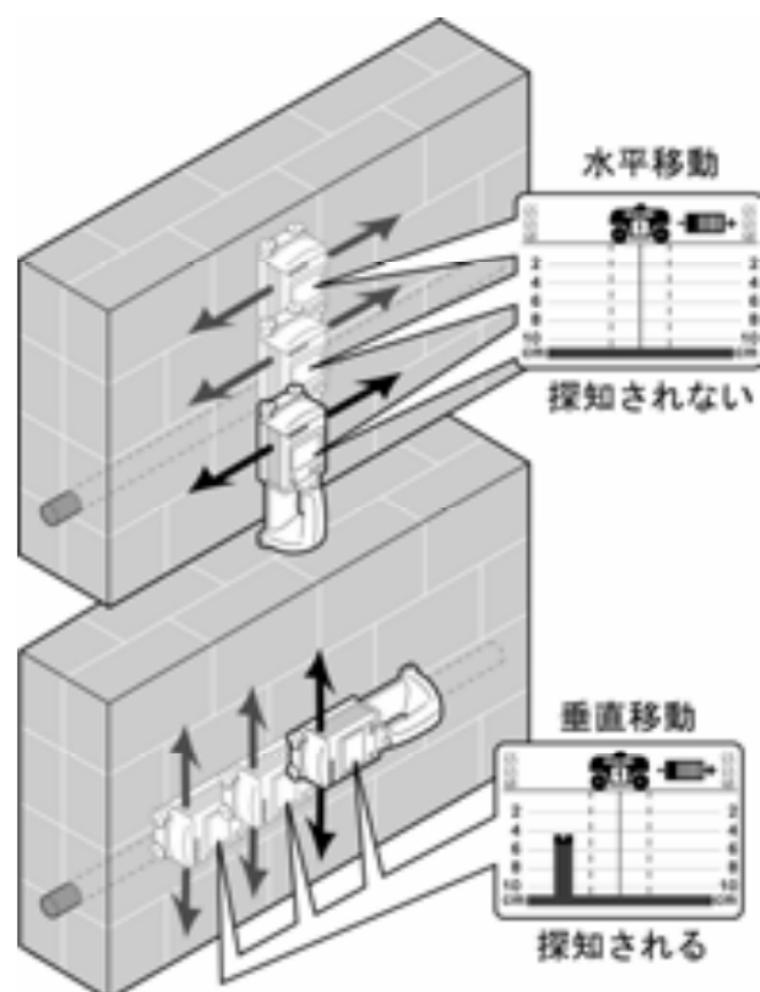
効率よく探知するには

埋設物が棒状・線状で、垂直に埋設されていると想定できる場合は、本機の水平移動を、高さを変えながら複数回繰り返します。

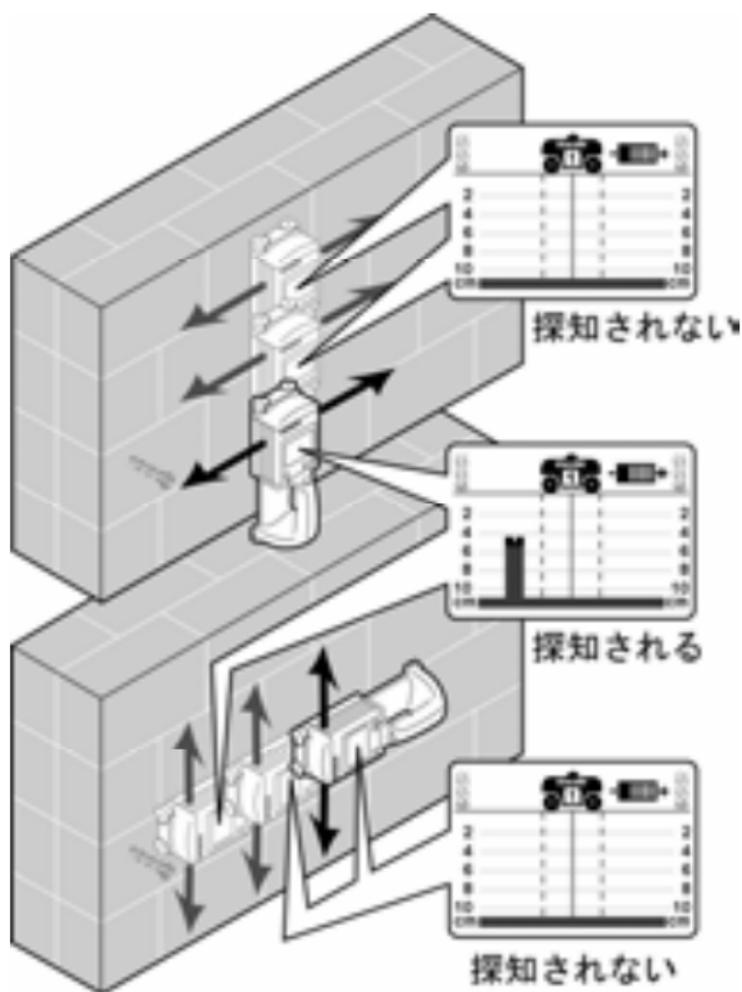


使
い
方

埋設物が棒状・線状で、水平に埋設されていると想定できる場合は、本機の垂直移動を、横にずらしながら複数回繰り返します。



埋設物がネジなど点状であると想定できる場合は、水平・垂直の両方向に本機を動かして、埋設物の位置を特定します。



探知感度の変更

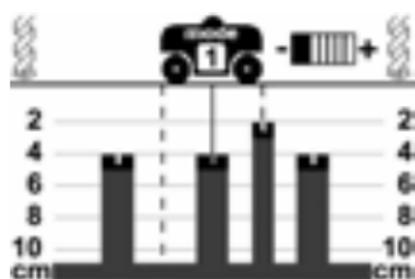
“Mode 1” または “Mode 2” では、探知感度を変更することができます。

探知感度を高くするにつれて、さらに深い位置の埋設物や小さな埋設物が探知できるようになります。

感度は画面の右上に表示されます。

“Mode 1” または “Mode 2” で、探知感度レベルが表示されているときに、「モード選択ボタン⑧」を短く押すと探知感度が高くなります。最高レベルは、探知感度の表示バー7本が黒くなった状態です。最高レベルに達した時点で、さらに「モード選択ボタン⑧」を押すと、最低レベルに戻ります。

使
い
方



 はじめは低い感度で作業を行い、埋設物が探知されなかった場合にのみ感度を上昇させることをおすすめします。

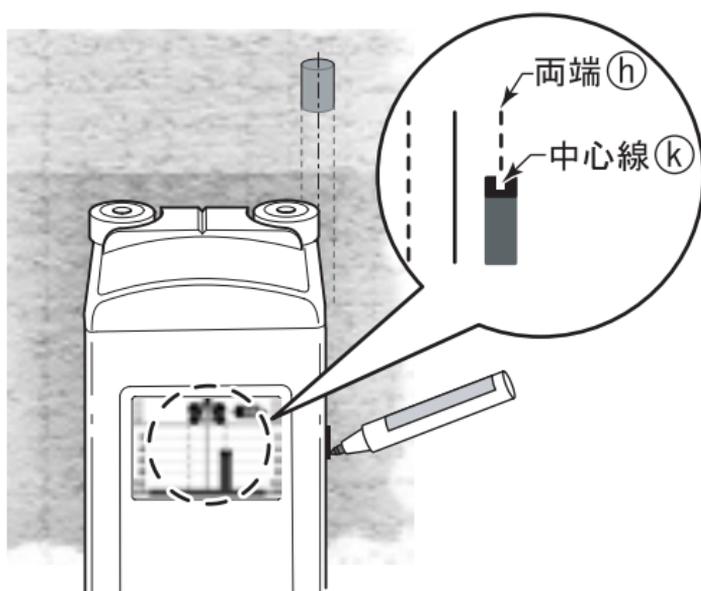
6 対象物の中心線をマーキングする

本機の側面を利用してマーキングする

（“Mode 1” または “Mode 2” のとき）

画面上の本機の両端⑧が探知された埋設物の中心線⑨にぴったり合うように、本機を埋設物の方向に移動させます。

本機の側面を利用して、探知対象面にマーキングします。

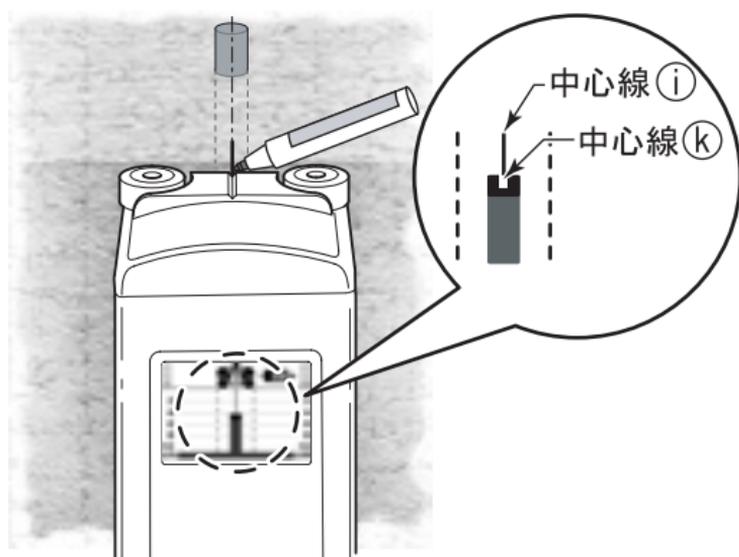


中心ガイド線⑩を利用してマーキングする

（“Mode 1” または “Mode 2” のとき）

画面上の本機の中心線⑩が探知された埋設物の中心線⑨にぴったり合うように、本機を埋設物の方向に移動させます。

中心ガイド線⑩を利用して、探知対象面にマーキングします。



7 「電源 ON/OFF ボタン④」を押して電源を切る

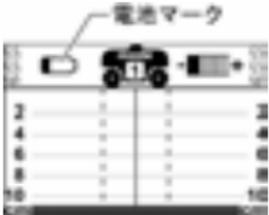
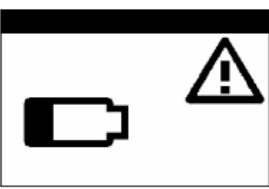
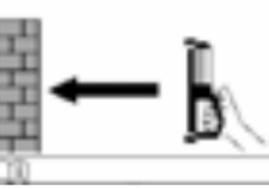
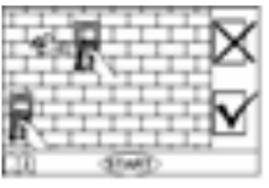
およそ5分間何も探知作業をしなかった場合、電源は自動的に切れます。

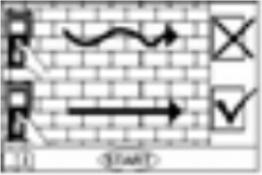
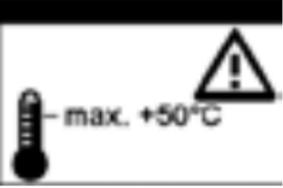
困ったときは

故障かな？と思ったら

- ① 『取扱説明書』を読み直し、使い方に誤りがないか確かめます。
- ② 次の代表的な症状が当てはまるかどうか確かめます。

症 状	原 因	対 処
電源が入らない	電池が完全に消耗しているか、取り付けられていない 電池が確実に取り付けられていないか、+・-極の向きが間違っている	新しい電池を取り付ける 電池を正しく取り付ける
ディスプレイの表示が黒くて、読めない	直射日光などが当たり、本体が高温になっている	作動温度（+50℃以下）になるまで、待つ

アラーム表示	原 因	対 処
	電池の容量が残り少なくなった	新しい電池を用意する（アルカリ乾電池なら、そのままでも30分ほど使うことはできます）
	電池が消耗している	新しい電池に取り換える
	（探知を始めるよう促す表示です）	「探知スタートボタン⑥」を押し、4個のガイドローラーを壁にぴったりくっつけ、真っすぐに動かして探知を始める
	本機の移動が早すぎた	「探知スタートボタン⑥」を押し、本機をゆっくり動かして探知をやり直す

アラーム表示	原因	対処
	<p>ガイドローラーが探知対象面から浮いたまま探知が行われたか、真っすぐに動かさないで探知が行われた</p>	<p>「探知スタートボタン⑥」を押し、4個のガイドローラーを探知対象面にぴったりくっつけ、真っすぐに動かして探知をやり直す</p>
	<p>携帯電話、電子レンジなどからの電磁波が探知を妨害している</p>	<p>電磁波を出している機器の電源を切り、「探知スタートボタン⑥」を押し、探知をやり直す</p>
	<p>周辺温度が低すぎる</p>	<p>作動温度（-10℃以上）になるまで、待つ</p>
	<p>周辺温度が高すぎる</p>	<p>作動温度（+50℃以下）になるまで、待つ</p>

困ったときは

修理を依頼するときは

- ◆ 『故障かな?と思ったら』を読んでもご不明な点があるときは、お買い求めの販売店または弊社コールセンターフリーダイヤルまでお尋ねください。
- ◆ 修理を依頼されるときは、お買い求めの販売店にご相談ください。
または、弊社ホームページでご案内してあります修理認定工場から最寄りの修理認定工場をお選びいただくか、ボッシュ電動工具サービスセンターにご相談ください。
- ◆ この製品は厳重な品質管理体制の下に製造されています。万一、本取扱説明書に書かれたとおり正しくお使いいただいたにもかかわらず、不具合（消耗部品を除きます）が発生した場合は、お買い求めの販売店またはボッシュ電動工具サービスセンターまでご連絡ください。
弊社で現品を点検・調査のうえ、対処させていただきます。お客様のご使用状況によって、修理費用を申し受ける場合があります。あらかじめご了承ください。

コールセンターフリーダイヤル

 0120-345-762

土・日・祝日を除く、午前9:00～午後6:00

*携帯電話からお掛けのお客様は、TEL. 03-5485-6161 をご利用ください。コールセンターフリーダイヤルのご利用はできませんのでご了承ください。

ボッシュ株式会社ホームページ

<http://www.bosch.co.jp>

ボッシュ電動工具サービスセンター

〒360-0107 埼玉県熊谷市千代39

株式会社バンテックゼットロジ内

TEL 048-536-7171 FAX 048-536-7176

ボッシュ電動工具サービスセンター 西日本

〒811-0104 福岡県糟屋郡親宮町の野741-1

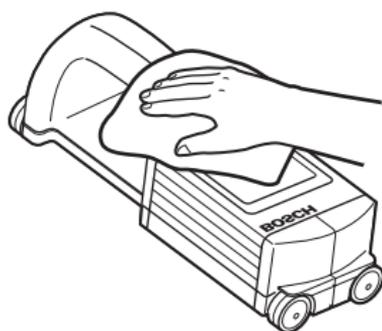
TEL 092-963-3486 FAX 092-963-3407

お手入れと保管

クリーニング

- センサー感知面⑩などに付いたゴミ、ホコリを取り除く
- 乾いた、柔らかい布で本体の汚れをふき取る

☞ 変色の原因になるベンジンなど、溶剤を使わないでください。



保管

- 使った後は、付属のソフトキャリングケースに入れ、きちんと保管する

- 風雨にさらされたり、湿度の高いところに置かない。
- 直射日光が当たったり、車中など高温になるところに置かない。
- 液漏れによる腐食から守るため、長期間使用しない場合は、本機から電池を取り外しておく。
- ガソリンなど、引火性が高いものの近くに置かない。



電池を交換する

使用電池

単3形アルカリ乾電池4本、または単3形充電式ニッケル水素乾電池4本

-  電池を交換するときは、常に新しい電池を4本セットで交換してください。
-  同種で、同一メーカーの電池を使用してください。
-  残り寿命の異なった電池の混用はしないでください。

1. 「電源 ON/OFF ボタン④」を押して、電源を切ります。
2. 電池カバーフック⑫を上押ししながら、電池カバー⑪を手前に引いて取り外します。
3. 電池をすべて取り外します。
4. プラス (+) 極・マイナス (-) 極の向きを電池収納部内のマークに合わせて、電池をセットします。
5. 電池カバー⑪を取り付けます。
6. 電池カバー⑪が確実に取り付けられているか、確認します。

ガイドローラを交換する

品番：1 609 203 D44

1. トルクドライバー（サイズ6）でガイドローラ固定ネジ①を緩め、取り外します。
2. 傷んだガイドローラを取り外します。
3. 新しいガイドローラを取り付けます。
4. 「ガイドローラ固定ネジ①」を取り付け、トルクドライバー（サイズ6）で締めます。

- 本取扱説明書に記載されている、日本仕様の能力・型番などは、外国語の印刷物とは異なる場合があります。
- 本製品は改良のため、予告なく仕様等を変更する場合があります。
- 製品のカタログ請求、その他ご不明な点がありましたら、お買い求めになった販売店または弊社までお問い合わせください。



BOSCH

ボッシュ株式会社 電動工具事業部

ホームページ：<http://www.bosch.co.jp>

〒150-8360 東京都渋谷区渋谷3-6-7

コールセンターフリーダイヤル

 **0120-345-762**

(土・日・祝日を除く、午前9:00～午後6:00)

*携帯電話からお掛けのお客様は、TEL. 03-5485-6161
をご利用ください。コールセンターフリーダイヤル
のご利用はできませんのでご了承ください。